

# ジェルコートF

問い合わせ先：ウエルテック株式会社  
価格：1,000円（税別）90g



ジェルコートFとは、歯ブラシに適量をつけてブラッシングするTC（Tooth Cleaning）用ジェルとして、また、再石灰化を促進するフッ素コートジェルとして、患者さんのニーズに合わせて2way使用ができる新しいカテゴリー「TCコートジェル」の製品です（特許出願中）。主要成分は、フッ化ナトリウム950ppm、塩酸クロルヘ

キシジン0.05%、 $\beta$ -グリチルレチン酸、キシリトール、ポリリン酸ナトリウム（キレート剤）です。

殺菌効果を減弱させる発泡剤（ラウリル硫酸ナトリウムなど）や研磨剤は無配合です。そして、歯垢、歯石原因除去効果があるポリリン酸ナトリウムを配合したジェルコートFは、単なる歯磨剤やフッ素コート剤ではありません

ん。う蝕予防、歯周病抑制効果、歯石抑制効果はデータにより確認されています。

ジェルコートFは毎日のフッ素入り歯磨剤として、また、再石灰化を促進するフッ素コート剤として2way使用できる唯一の製品です。

## 私はこう使っています

にしがわらふさお たけうちひろあき  
西川原総生<sup>1,2</sup> 武内博朗<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 国立保健医療科学院口腔保健部  
〒351-0197  
埼玉県和光市南2-3-6

<sup>2</sup> 医療法人社団 武内歯科医院  
〒252-1131  
神奈川県綾瀬市寺尾北3-12-32

最近のオーラル（口中）ケア関連用品は多方面の目的をもって提供されています。そして、私たちは患者さんの口腔環境に合わせたケア用品を処方する時代に入っていると痛感しています。それゆえ実際に使おうと思ってもどれを使用しようか迷ってしまう、また、有効な使用方法が不明瞭な場合もあると思います。本稿ではオーラルケア用品ジェルコートFの歯科医院でのプロフェッショナルケア、各家庭でのホームケアを紹介します。

ジェルコートFは薬事法上、歯磨剤に分類されます。有効成分にポリリン酸ナトリウム、フッ素、キシ

リトール、 $\beta$ -グリチルレチン酸、塩酸クロルヘキシジンが配合されています。汚れを取る成分ポリリン酸ナトリウムを配合することで、歯磨剤としての効果も得られる処方となっています。フッ化ナトリウム、フッ化第一スズのフッ素効果については、歯の再石灰化の促進とともに抗菌効果もあります。フッ化ナトリウムもフッ化第一スズもフッ素効果は変わりませんが、フッ化第一スズは、スズの成分により着色やしみ、根管治療をしている人には刺激を感じることもあるため、フッ化ナトリウム（950ppm）を配合しています。スズにも抗菌効果が期待できるとの報告もあり、それと同様の効果を期待して、塩酸クロルヘキシジン（0.05%）が配合され、また、歯周病患者の歯肉への消炎効果として $\beta$ -グリチルレチン酸が配合されています。

使用感はどうが回数も最小限で済ませることができ、甘味料として少量のミントとキシリトールを配合し

ているために使用後は口の中が爽やかです。配合のキシリトールはフッ素といっしょに歯の再石灰化を促進します。各種有効成分は別として、一般の歯磨剤と大きく異なる点は発泡剤・研磨剤が使用されていないことがあげられます。近年は電動歯ブラシ・音波歯ブラシの普及により発泡剤・研磨剤無使用の歯磨剤の必要性が求められていました。歯面への過度な研磨の心配もなく、発泡剤や研磨剤と拮抗し殺菌効果が減弱することがないように配慮されています。

### ① 各家庭におけるホームケア（歯磨剤）としての使用法

歯ブラシに適量をつけ、ブラッシング用ジェルとして歯や歯間部に行き渡らせ、その後軽く洗口します。一般的な歯磨剤と同様ですが、研磨剤が配合されていませんので歯牙の着色への注意が必要です。一般的な歯磨剤によるブラッシング後の仕上げ磨きに使用することも有効です。ジェルタイプなので歯間ブラシや糸

表1 検査項目

Plaque Index (PII) : ブラークの付着量測定
Gingival Index (GI) : 歯肉の炎症を測定
Probing Depth (PD) : ポケットの深さを測定
歯冠長の減少に伴う歯肉の増殖

表2 歯冠長の変化

		Start	3M	変化率
C群	平均	0.556	0.548	-0.0019
	S.D.	0.085	0.087	0.011
T群	平均	0.572	0.546	-0.0285
	S.D.	0.095	0.09	0.035

\* p&lt;0.05

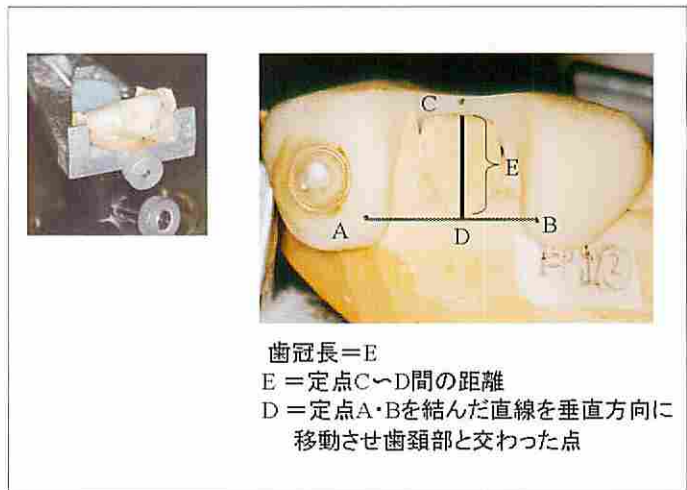


図4 歯冠長の計測

たことによる賦活効果を図1～図3に示します。OIM加水分解コンキオリンを0.0005%加えることにより、controlに比べ線維芽細胞の賦活効果は $26.49 \pm 2.27\%$ でした。このデータから、OIM加水分解コンキオリンを歯磨剤として用いることにより、歯肉線維芽細胞を賦活化させ、歯肉退縮を改善することができるのではないかと仮定し、臨床実験を行いました。

### 3. 臨床効果

リペリオ®を3カ月間使用することによる効果について検索を行いました。検査項目を表1に示します。歯冠長の変化については、実験開始時およびリペリオ®使用3カ月後に上顎前歯部の印象採得を行いました。その後、作製した石膏模型の規格写真を撮影し、上顎中切歯の歯冠長を計測用ソフトであるNIH-image(National Institute of Health, USA)を用いて測定しました(図4)。結果として、3カ月後における歯冠長の変化率は、C群に比べT群において統計学的に有意(p<0.05)な歯冠長の減少が認められました(表

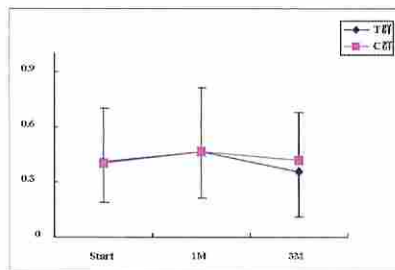


図5 GIの経時的変化

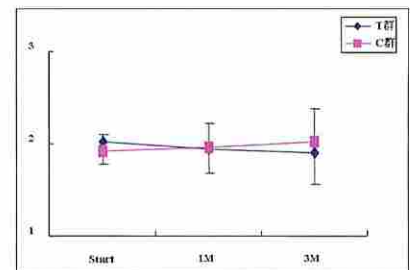


図6 PDの経時的変化

2).

歯冠長が減少することは、歯肉が歯冠方向に増殖することにより生じる変化であり、このことから、T群において歯肉の再生が生じたと考えられます。歯肉辺縁の歯冠側への移動として、歯肉の炎症による影響も考えられますが、本研究において、T群はポケットの深さはほぼ変わらないにもかかわらず、歯肉の炎症を表すGI値が減少傾向を示したため(図5・図6)、炎症による歯肉辺縁の歯冠側への移動は生じていません。

### 4. おわりに

OIM加水分解コンキオリンを主成分とするリペリオ®を用いるこ

とにより、辺縁歯肉の修復が認められることがわかりただけかと思えます。今回行った実験は、歯周病に罹患していない健常者が多かったので、実際の歯肉退縮を主訴とする患者であれば、さらなる修復効果が望めるのではないかと考えられます。また、OIM加水分解コンキオリンの細胞賦活効果が高いことにより、歯周外科処置を行った後の創傷治癒促進効果も期待できます。

このようにリペリオ®は、いままでになかったコンセプトであり、細胞賦活効果があることによりさまざまな用途で使用することができる歯磨剤といえます。